

# 各地に猛威を振るった 「令和2年7月豪雨災害」 滝町の法面崩壊（土石流）の様子



## 特集 災害に備える

—いざというときに備えて、今できることを—

昨年の7月3日から8日にかけて、断続的に降り続いた雨により、土砂崩れや河川の氾濫など市内各地で大きな被害があった令和2年7月豪雨災害から、もうすぐ1年が経ちます。この災害では、住宅や公共施設への被害など様々な爪痕を残し、市内77カ所の避難所を開設し（一時避難所を含む）、582世帯1,273人が避難しました。

今年も例年よりも早い梅雨入りとなりました。梅雨期は大雨による災害の発生しやすい時期です。いざというときに備えて、事前の準備がとても大切になります。今回の特集では、災害に備え、準備しておくべきことについて紹介します。（4〜7ページ）

担当職員に聞く  
事前の備えが大事



危機管理課  
のむらかずよし  
野村和義 課長

災害に備えて、事前にできることは、たくさんあります。避難行動を家族で確認したり、備蓄品を準備するなど平常時から確認しておくことが大切です。

問合 危機管理課 ☎35-33345

防災無線の内容は電話でもご確認いただけます。☎0180-995-690

緊急ごらくおん

2021.6.1